

こうち地域 ミニケア研究会たより



第4号
平成25年10月10日



去る9月10日に、第4回目の研究会が開催されました。

日時: 9月10日(火) 18:30~20:30

会場: 彦根市立病院医療情報センター多目的室

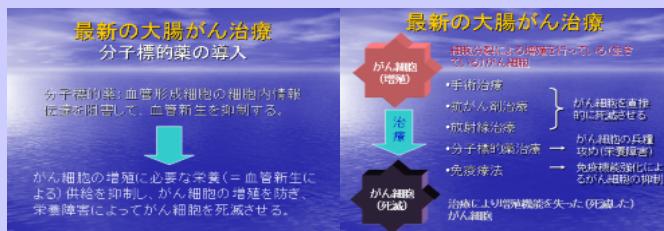
参加者: 79名(医療関係者: 22名、福祉関係者: 34名、行政等: 23名)

今回は、ミニ学習会として、山田クリニックの山田恭造先生から、最新の大腸がん治療のお話をいただき、その後、特別養護老人ホームとグループホームで取り組まれた看取りの事例について、話題提供をしていただきました。

話題提供の内容などを含め、参加者が10のグループに分かれ、意見交換を行いました。

ミニ学習会 =新しい大腸がん治療～自らの体験から～=

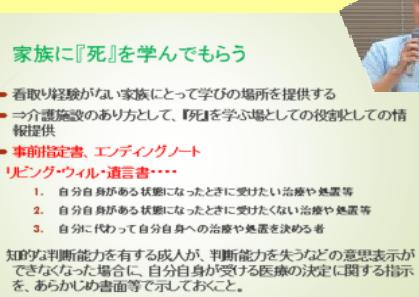
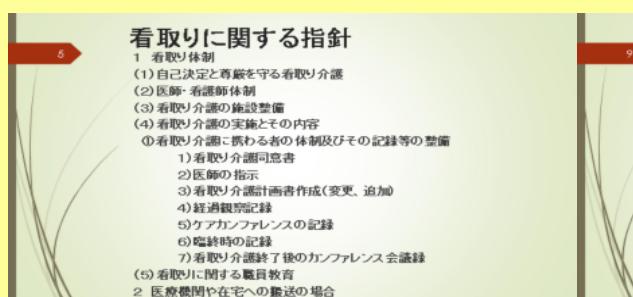
山田クリニック 山田恭造先生



実際の写真を用いて、
治療前後の様子などを、
教えていただきました。
ありがとうございます!!

話題提供 その1 =どんなふうに施設で看取るの=

多賀清流の里 特養統括 居川 勉さん



話題提供 その2 すまんなあ、おおきに～グループホームだからできること～

グループホームハートフル 山村洋子さん



家族とのカンファレンス

- 延命措置に関する意思確認書へのご記入のお願い
- 急変時の救急救命医療および延命措置について
- 延命措置に関する意思確認書
認知症高齢者等で自署が困難者用
- 救急時の対応に関する同意書
- 看取り介護に関する説明書と同意書(契約書)

チームカンファレンス
ターミナルケアマニュアル(グループホーム)
看取りに関する指針

グループホームだからこそ出来る疑似家族としての看取りとは
ご本人様とご家族様が望む形の
“逝き方”を支え、家族の一員として
看取る心



グループワーク

講演を聞いた感想・もっと知りたいこと

今、私たちの取り組んでいること

など



以前にも話題になりましたが、ご家族やご本人の思いを何度も聞いて、確認しながら、看取っていっておられる…
そんな丁寧な関わりを、ここでも知ることができました。

- ・スタッフだけでなく、他の利用者と一緒に看取ることができた。以前は地域との関わりもあった。
- ・GHでは、他の利用者が混乱するのではないかと不安もあったが、意外と自然に受け入れられていた。
- ・エンディングノート(高齢者)を、いつするのか。
- ・看取りについて、施設の環境によっても家族など関わる人数も限られてくるのかな。
- ・施設スタッフの中には経験がない人も。経験を積むことも大事。
- ・看取りの選択肢、今後の予測を家族に伝えていくことが大切。
- ・本人の意思確認。タイミング含め、どうやって確認をするのか、できるのか。
- ・施設では、夜間が不安。経験が必要。
- ・施設の場合は、家族がほどよい距離感で関わることができ、安心感も大きい。
- ・たびたびの意思確認や、情報が必要。
- ・家族の覚悟もあるが、スタッフの覚悟も大切。亡くなるという体験があまりない場合は特に覚悟をもつことが必要。
- ・元気なうちから意向を聞けるといい。
- ・でも、「死」や「最終」はふれにくい話題、ハーダルが高い。

- ・看取りをしていない施設の理由は、医師との連携が取れていない、夜間の対応が難しい、ケアワーカー、看護師など職員間でも死に関する考え方方が異なるなどなど…
- ・看取りを対応している施設でも、もちろん不安はあるが、経験することで日常のケアの見直しもできる。
- ・終末期を体験している家族が少ないので、どうやって向き合ってもらつか。家族も巻き込んで看取りをしていく必要がある。
- ・エンディングノートのタイミング、高齢者の場合、死生観を持っている場合が多い。難しいが、かかわりの中で聞いていく。

▶同意・看取り計画立案について教えて！

- ・医療処置がないと医師より説明があつた時点で、家族と話し合いをする。
- ・家族へます相談。食事がとれない、脱水症状がでてきているなどの段階で、スタッフを交えて話し合い、双方が同意、合意に達す。
- ・計画書はケアワーカー、担当職員がついて計画を立てること。
- ・計画はチームで考える。訪問看護師も担当に加わってもらっている。

▶家族の寝泊まりするスペースは？

- ・限りはあるが、確保できている。人数の制限はない。
- ・小一室などを使用してもらっている。

▶その他、こんな工夫を！

- ・訪問看護をうまく利用するとよい。GH、特養も利用できる。日常の観察をしてもらい、いざというときは医師がいくようにできれば対応しやすいのではないか。
- ・病院では最初を迎えない時期がくることを心に留めておくことが必要。



自己紹介タイム



テーブルごとに前に出て、所属とお名前を言っていただいています。



研究会開始直後、研修会やイベントの案内の時間を取っています。
皆さんに知ってもらいたい！ということがありましたら、事務局までご連絡ください。



定例は、、、

開催日: 奇数月の原則第2火曜日(変更あり)

18:30 ~ 20:30(時間厳守)

次回は... 11月12日(火) 18:30 ~ 20:30

テーマ: 地域医療支援センターの役割と活動内容

会場: 彦根市立病院 医療情報センター

申込み不要、当日会場へお越しください



連絡先: こう地域チームケア研究会事務局(湖東健康福祉事務所)

TEL: 0749-22-1770

こんなこと、思いました！

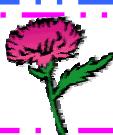
話題提供に関して、

- 「参考になった点」「もう少し聞いてみたい点」「報告したい点」など
- 
- 施設での看取りについて情報不足でした。上手くいかなかったケースの紹介も参考になるかと思いました。
【行政等】
 - 施設の看取りについて行っているところ、していないところ、その理由について詳しく聞けてよかったです。
 - お疲れ様でした。ありがとうございました。
 - 職員への死について、看取りについて、どの様な勉強会をしているのか具体的に知りたい。
【医療関係者】
 - 看取りについては大変難しい問題であると毎回感じます。家族の認識、覚悟も必要。
在宅と施設の看取りの違い。各サービス、職員、スタッフ間の同じ思い、考え、知識等の共有が大事。
 - 施設での看取りの難しさを知ることができた。(承諾書、同意書、申請書が必要なこと、経験がないと難しいなど)今後、看取りを行う場所が在宅だけでなく、施設が増していくと思われる。
【医療関係者】
 - 在宅、施設、どちらにおいても信頼関係が大切なことが改めて思った。
【福祉関係者】
 - グループホーム、特老での看取りが実際行えていた事が嬉しく思いました。
看取りを行う上で、医療処置(吸引、褥瘡)が必要になった場合どう対応しているのか。
【福祉関係者】
 - いつも遅い時間にしか参加できません。それでも参加したいと思います。
 - 有難うございました。
【福祉関係者】
 - 看取りにあたって契約書を取りかわし、契約書にも有効期限がある事を知った。
全施設の中での看取りの実績と今後はどのような方針をもっているのかG.H以外での看取りでの事例を聞いてみたい。
【福祉関係者】
 - 施設 在宅 H.P.をよりシームレスに連携する事により、一人一人の生き方をよりしっかりと支える事ができる。研修での顔の見える関係はまず第一歩という印象である。
【福祉関係者】
 - 具体的な内容を皆にお知らせ頂くと参考になります。契約書、同意書、評価表、運用マニュアル。この地域特有のサービス等の内容等 は看取りまでOK。開業医 はどこまでOKかマニュアルができれば良い。
【医療関係者】
 - G.Hの普段の生活、家族として生きている実感が伝わってきました。
【福祉関係者】
 - 再度、G.Hで「看取り」についてスタッフミーティングが必要だと考えました。
【福祉関係者】
 - 看取りのために、普通のケアよりも特別にされているケアがあればもう少しきいてみたかったです。
【医療関係者】
 - 1つのテーマに多職種で話し合うことは実りが多いと感じた

今後、研究会で聞きたい内容やテーマをお聞かせください

- 訪問歯科医について

【福祉関係者】



こう地域チームケア研究会では、研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、事務局(湖東健康福祉事務所)まで、

メールアドレス

ご所属

お名前 を、お知らせください。

FAX 0749-26-7540

